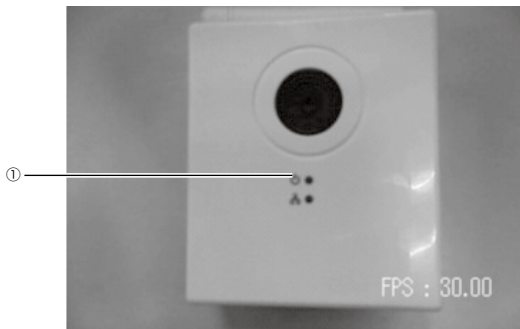


本製品はWebブラウザからアクセスして操作できます。本紙では、本製品の機能と操作方法を説明しています。本製品の設定方法については、別紙「かんたんセットアップガイド 導入編」を参照してください。

基本的な使いかた

画面の見かたとボタンの機能

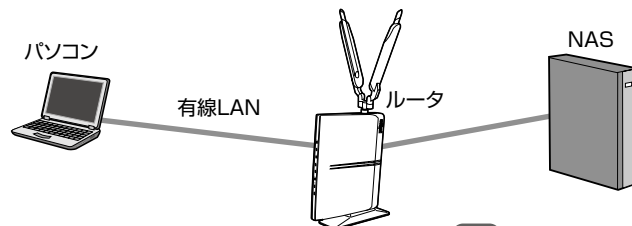


- ①カメラが映している画像が表示されます。
- ②静止画(*.jpg)を撮影します。(下記「静止画/動画を録画(保存)する」参照)
- ③動画(*.avi)を録画します。(下記「静止画/動画を録画(保存)する」参照)
- ④カメラの映像をウィンドウサイズに合わせて拡大/縮小します。元のサイズに戻すときは、もう一度クリックします。
- ⑤カメラの映像を全画面表示にします。
- ⑥被写体をズーム(拡大)します。(下記「被写体をズーム(拡大)する」参照)

！ ボタン操作はInternet Explorerでのみ行えます。他のWebブラウザでは操作できません。

静止画/動画を録画(保存)する

カメラが映している画像を静止画や動画として保存できます。



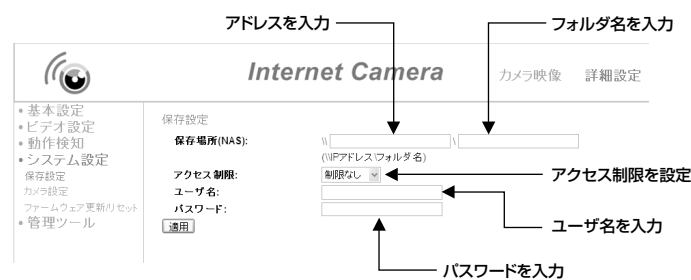
- 1 カメラの映像を確認して、撮影したいタイミングでボタンをクリックします。



静止画を撮影する場合にクリック
動画を撮影する場合にクリック

- 2 撮影した画像の保存先を指定します。

- ルータにNASが接続されている場合
撮影した画像および映像はNASに保存されます。保存場所は以下のとおりです。
¥¥(IPアドレス)¥IPCamera_Record¥Logitech_cam_(MAC address下6桁)¥yy_mm_dd
(yy:年 mm:月 dd:日)
例:2011年12月24日に撮影し、カメラのMACアドレスの下6桁が1234abの場合
¥¥(IPアドレス)¥IPCamera_Record¥Logitech_cam_1234ab¥11_12_24
- ※NAS内の保存先は次の手順で設定できます。
- ①[詳細設定]-[システム設定]-[保存設定]の順にクリックします。
- ②アドレスとフォルダを入力します。
- ③NASでアクセス制限をかけている場合は、ユーザ名とパスワードを設定します。



- ルータにパソコンが接続されている場合
パソコン内に画像を保存します。
保存先のフォルダを指定し、[OK]をクリックします。

- 3 動画を録画しているときは、もう一度ボタンをクリックして録画を停止します。



クリックして録画を停止

！ NASに動画を保存する場合は、解像度を「QVGA」に設定する必要があります。本紙裏面の「解像度、画面更新頻度、周波数帯域」を参照して、解像度を変更してください。

被写体をズーム(拡大)する

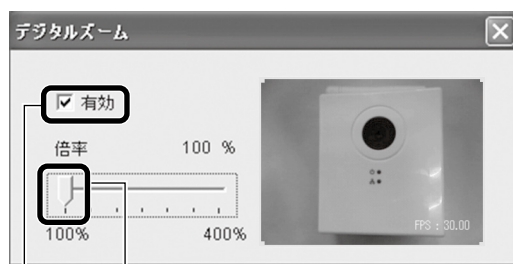
最大で400%(4倍)のズームが可能です。

- 1 ズームボタンをクリックします。



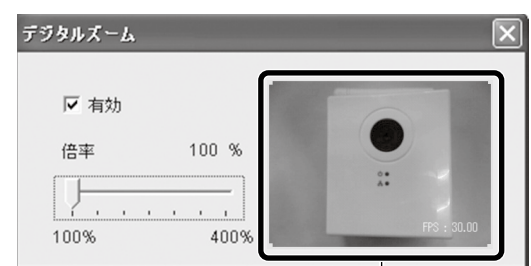
クリック

- 2 「デジタルズーム」ダイアログが表示されます。[有効]をクリックしてチェックマークを付け、スライダーをドラッグしてズームを調整します。



クリック ドラッグ

- 3 サムネイル上に表示されている緑色の枠の四隅をドラッグして、撮影エリアのサイズを変更します。枠をドラッグして撮影エリアを移動します。



ドラッグ

- 4 設定が終わったら、ダイアログ右上の[X]をクリックしてダイアログを閉じます。

その他の機能

カメラの機能について設定できます。

設定画面にログインするためのユーザー名とパスワードは次の通りです。

ユーザー名	admin
パスワード	admin

動作検知機能

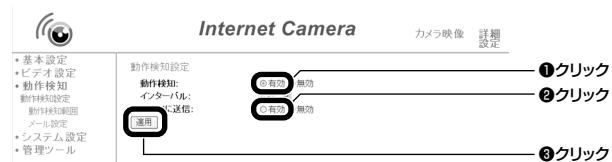
カメラが動く物体を検知した際に、自動で静止画を撮影します。撮影した画像は、指定したメールアドレスに自動で送信できます。

1 [詳細設定] - [動作検知] - [動作検知設定]の順にクリックします。

2 ①「動作検知」の[有効]をクリックして選択します。

②「E-mailに送信」の[有効]をクリックして選択します。

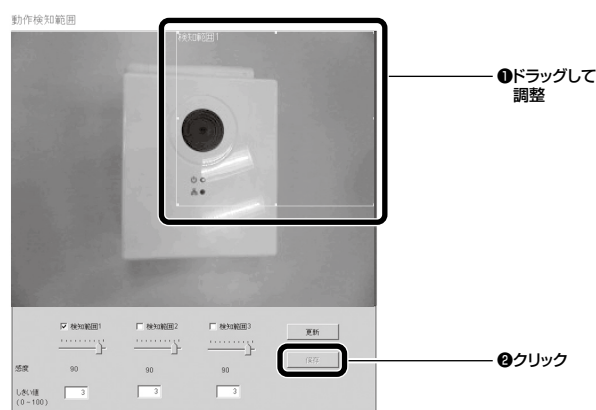
③ [適用]をクリックします。



- ④ 「インターバル」は、動作検知を行う間隔です。
- ⑤ メールの送信間隔は、最短で約60秒です。

3 画面左に表示されているメニュー一覧の[動作検知範囲]をクリックします。

4 ① 枠の位置やサイズを調整して、動作を検知するエリアを指定します。
② [保存]をクリックします。



- ③ 動作検知範囲は3箇所まで設定できます。
- ④ 動作検知範囲ごとに感度を設定できます。数値が大きいくほど感度が高くなり、わずかな動きも検知するようになります。

5 メニュー一覧の[メール設定]をクリックします。

6 メールアドレスなどを設定します。

• カメラから送信するメール(フリーメール)のアカウントを設定します。

- 1) 「フリーメール」のプルダウンメニューからフリーメールの種類(Hotmail/Yahoo mail/Gmailのいずれか)を選択します。
- 2) 「送信アドレス」に、カメラから送信するメールアドレスを入力します。
- 3) 「アカウント」と「パスワード」を入力します。

• メールを受信するメールアドレスを設定します。「受信アドレス」に、カメラから送ったメールを受信するメールアドレスを入力します。



7 [適用]をクリックします。

- ④ [テストメールの送信]をクリックすると、設定した受信アドレスにテストメールが送信されます。

手動での無線LAN設定

※事前にカメラと無線親機をLANケーブルで接続しておいてください。

1 [詳細設定] - [基本設定] - [無線設定]の順にクリックします。

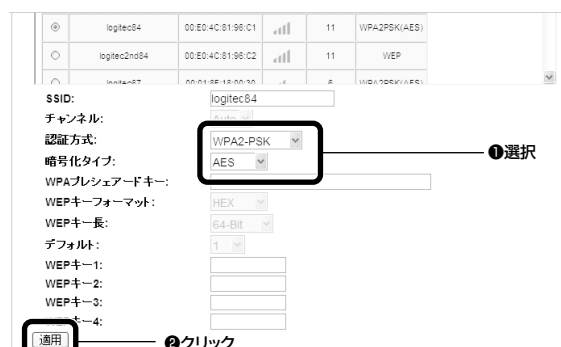
2 「利用可能なネットワーク」リストから、無線親機のSSIDを選択します。

- 無線親機のSSIDが分からない場合は、無線親機の取扱説明書を参照してください。



3 ① 「認証方式」と「暗号化タイプ」を選択し、暗号キーを入力します。

② [適用]をクリックします。



4 カメラの設定が更新されたら、無線親機とカメラを接続しているLANケーブルを外します。

- この状態でネットワークランプ(黄色)が点灯していれば、カメラと無線親機は無線LANで接続されています。

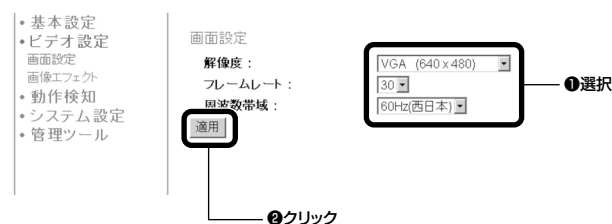
解像度、画面更新頻度、周波数帯域

カメラ画像の解像度(大きさ)と、画面を更新する頻度(リフレッシュレート)を設定できます。

1 [詳細設定] - [ビデオ設定] - [画面設定]の順にクリックします。

2 ① 「解像度」、「フレームレート」、「周波数帯域」のプルダウンメニューから任意の設定を選択します。

② [適用]をクリックします。



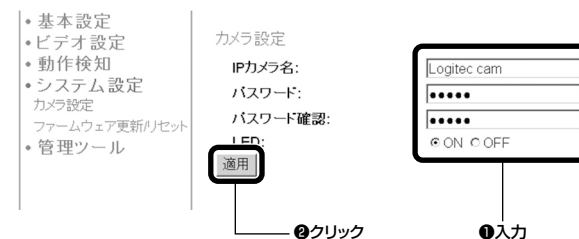
- 解像度: SXGA (1280×960) / VGA (640×480) / QVGA (320×240)
- フレームレート: 30/25/20/15/10 [fps]
- 周波数帯域: 50Hz (東日本) / 60Hz (西日本)

カメラの設定

カメラのネットワーク上での名称と、アクセスのためのパスワードを変更できます。

1 [詳細設定] - [システム設定] - [カメラ設定]の順にクリックします。

2 設定を変更し、[適用]をクリックします。



- IPカメラ名: ネットワーク上で表示される、本製品の名称です。
- パスワード: カメラにアクセスする際に必要なパスワードです。変更した場合は確認のため、「パスワード確認」欄にも同じパスワードを入力してください。
- LED: カメラ本体のLEDのON/OFFを切り替えられます。